

苦情相談テスト

平成29年度における苦情相談テストの総件数は10件であり、前年度と比べて8件の減少となった。分類別では、食料品、住居品、被服品、教養娯楽品に関するものが各2件、20%であった。その他の商品、クリーニング（被服品）に関するものが各1件、10%であった。

また、10件のうち、原因究明のために独立行政法人製品評価技術基盤機構（通称：NITE）北陸支所へ1件のテストを依頼した。

分類(※)	件数		項目数		検体数		件数/全体(%)	
	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28
食料品	2	1	3	2	9	6	20	5.6
住居品	2	11	3	12	2	20	20	61.1
光熱水品	0	0	0	0	0	0	0	0.0
被服品	2	1	2	3	3	9	20	5.6
保健衛生品	0	1	0	1	0	1	0	5.6
教養娯楽品	2	2	2	3	2	3	20	11.1
車両・乗り物	0	0	0	0	0	0	0	0.0
土地・建物・設備	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他の商品	1	0	1	0	1	0	10	0.0
クリーニング(被服品)	1	1	1	1	2	4	10	5.6
クリーニング(その他)	0	1	0	1	0	2	0	5.6
合計	10	18	12	23	19	45	100	100.0

※分類は、(独)国民生活センターの「消費生活年報」による

<主なテスト事例>

分類	安全性テスト	品質テスト
食料品	—	豚肉の品質など
住居品	電気蓄熱暖房機器の過熱	鉄製雪かきの変形
被服品	靴の滑り	リュックサックの変色
教養娯楽品	—	USBメモリの破損など
その他の商品	—	虫の鑑別
クリーニング(被服品)	—	スーツの穴あき